

うめだ カレッジ

2015年度 前期

大学サテライトオフィス会“OSAKA”
大阪市立総合生涯学習センター

10大学による 連続講座

知のセレクション

受講無料

大阪にサテライトオフィスを持つ大学の集合体―「大学サテライトオフィス会“OSAKA”」。加盟するうちの10大学によるリレー講座を開催いたします。各大学の特色を活かした学びの場にあなたも参加してみませんか。〈お申し込みは裏面をご覧ください〉

	開催日時	大学	タイトル	講師	講座内容
第1回	4/18（土）	宝塚大学	LGBT の子どもたちの思春期 ～学校教育や地域での 理解と支援～	日高 庸晴 看護学部教授	近年、性同一性障害等、LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー）などの性的マイノリティの存在が注目されるようになってきました。人は本来個別で多様であるとの理解が進む一方、彼らへの誤解や偏見が誘因となって、自殺企図や自傷行為に至る若者が存在することを知られる者は多くありません。当事者7万人対象の国内調査結果から示される、学校や地域に求められる支援のあり方を考えます。
	申込みは 3/10（火）から				
第2回	5/9（土）	追手門学院大学	地域から始まる ～これからの心豊かな生き方～	佐藤 友美子 地域創造学部教授 成熟社会研究所長	地方創生が大きな政治的なテーマになっています。一方で過疎が進む多くの地域では、選択と集中による切り捨てが迫られています。地方には多くの課題がありますが、沢山の資源や魅力もあります。暮らしの現実を見据える中から生まれた、地方の地域密着型の創造的活動と、その可能性を探ります。心豊かな暮らしとは何なのかを、一緒に考えてみたいと思います。
	申込みは 3/30（月）から				
第3回	6/13（土）	上智大学	ロシア文学へのいざない ～ニコライ・ゴーゴリを 読み解く～	井上 幸義 外国語学部教授	日本人にも馴染みが深いロシア文学者は枚挙に暇がありませんが、その中でも『検察官』『死せる魂』『鼻』などの作品で知られるゴーゴリは、幻想的な作風で異彩を放っています。ゴーゴリの代表作品を読み解きながら、その醍醐味に迫ります。
	申込みは 4/27（月）から				
第4回	7/18（土）	大阪経済大学	消費社会を考える	藤本 寿良 情報社会学部教授	私たちはみな消費者です。現代の消費者は、ただ単に消費しているという存在ではありません。消費社会とは、財やサービスを商品として生産し提供する企業とそれをもつばら貨幣で購入する消費者との関係のことです。それは、商品経済の発展とともに変化してきました。このような消費社会の発展を、江戸時代から、第2次大戦終了後の大衆消費社会までをふりかえりながら、現在の消費社会を考えます。
	申込みは 6/10（水）から				
第5回	講座内容が確定次第お知らせいたします。（8～9月に開催予定）				

2015年度 後期(第6～10回)の講座スケジュールについては、2015年7月以降にお知らせいたします。